

神は純粋な心を愛する

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

抜粋 25

実は、恐れは正しく利用されれば有益なものですが、そうでなければ全く有害なものです。あるフランスの作家がかつてこう言っています。「信仰から生まれた高德の恐れと、疑いと不信心の産物である悪徳の恐れがある。前者は希望へと導き、神を信頼し、信じる。後者は絶望をもたらしがちで、神を信頼せず、信じない。ある宗派の人々は神を失うことを恐れ、他の宗派の人々は神を見いだすことを恐れる」



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ著『神は純粋な心を愛する』第1章「恐れのない心」(SYDA Foundation 2005) 11 ページ